

避難拠点訓練とシンポジウム

～障害のある人もない人も、日本人も外国人もいっしょに訓練！～

【趣旨】

練馬区ではこれまでに 103 校の区立小中学校を対象に、避難拠点連絡会を立ち上げ、それぞれの避難拠点で防災訓練が実施されてきました。

震度 6 弱以上の地震が発生し地域に被害が生じた場合、避難拠点到避難してくる住民は健常者だけとは限りません。

自宅療養されているご病気の方、体の不自由な方、在住外国人の方も住民として避難拠点到避難されることが想定されます。

103 カ所の避難拠点ではこうした方々の避難拠点への受け入れ態勢についての検討は未だ十分とは言えない状況にあります。

このたび練馬区の職員組合からの提言・協力も頂く中で、こうした問題についてモデル拠点において、「避難拠点と要援護者との合同訓練とシンポジウム」を実施することにより、これからの 103 校における避難拠点活動充実への課題を明らかにしていきたいと思っております。

【実施概要】

1. 日 時・・・平成 16 年 6 月 27 日（日） 午前 10 時～午後 3 時

2. 会 場・・・練馬区立大泉小学校（体育館・中庭・2 階会議室等）

3. 訓練内容・・・第一部 9：30～13：00

要援護者との合同訓練

（避難誘導、疑似体験等）・炊き出し訓練

第二部 13：30～15：00

パネルディスカッション

「これからの地域防災態勢について（仮題）」

予定パネラー

- 井上 浩一氏（防災ネットプランニング）
 - 中川 和之氏（時事通信記者）
 - 小島 誠一郎氏（NPO 環境防災総合政策研究機構）
 - 川井 淳子氏（大泉小学校避難拠点運営連絡会会長）
 - 鞆 修二氏（大泉小学校校長）
 - 折原 英信（大泉小避難拠点区要員班長）
- コーディネーター
- 高橋 洋（練馬区防災課防災計画主査）

【共催】

大泉小避難拠点運営連絡会

【協力】

大泉中避難拠点運営連絡会

当日プログラムと訓練内容

第一部 (※時間は目安です。)

①避難住民（訓練参加者）の受け入れ・・・ 9：30～10：00

②受付後、指定避難場所への誘導・・・ 10：00～10：10

③指定避難場所移動後、受付票の記入・・・ 10：10～10：30

④受付票回収後、訓練場所へ移動・・・ 10：30～10：40

⑤個別訓練・・・ 10：40～12：00

内容

起震車体験・煙ハウス体験・初期消火訓練・・・外国人対象

トイレ体験・備蓄庫説明、1 日の必要な水を感じる

起震車体験・・・視覚障害者対象

トイレ体験・備蓄庫説明、1 日の必要な水を感じる・・・肢体障害者対象

疑似障害体験・・・一般参加者

⑥炊き出し試食・・・ 12：00～13：00

⑦ゴミ処理見学・・・ 13：00～13：15

※ 災害時でもゴミは出ます。ゴミ回収を行うに当たり災害時だからといって分別しなくていいということではありません。大勢の方がいる場所で、分別をきちんと行うには、またゴミ自体の排出を少なくするには、ゴミ回収の現場を見たらうで、考えてみましょう。

第一部終了

第二部

① シンポジウム・・・ 13：30～15：00

内容

「これからの地域防災態勢について（仮題）」

※ 午前中の訓練を受けて、今後避難拠点として行うべきもの、検討すべき事柄はなにか。また、神戸ではどのような事態が起こっていたのかなどを話し合います。疑問があれば、その場でお話を頂き、今後の避難拠点の運営について方向性をみなさんと一緒に探ってみたいと思います。